



市議会議員
上田由美子
☎ 68-2106
☎ 68-2146



参議院議員
井上さとし



前衆院議員
藤野保史

子ども医療費 県外でも窓口無料制度を



質問する上田市議
=9月15日

県外の受診件数 803件



「上田市議」今年2023年4月から18歳年度末までの子ども医療費が無料となった。そして、昨年22年4月から富山県内すべての医療機関で、窓口無料化が実現している。健康保険適用分について、高校生の年代の分も病院窓口で無料になり、医者に診てもらいやすくなったという声を聞いている。

しかし、小矢部市の子どもが富山県外の医療機関で診療を受けた場合は、自己負担分を窓口で一旦支払い、後日市のこども課で還付の手続が必要だ。手続き後、被保険者の口座に翌月末に振り込まれる。それまでの間、自己負担分を立て替えることになる。こども家庭課によれば、市民の富山県外での受診数は、2020年 608件、21年 673件、22年 803件となっている。

ワンチーム富山で桜井市長が要請 新田知事「石川県知事に働きかける」

昨年22年11月に日本共産党が富山県に出した要望書の回答では、厚生部こども家庭室が現物給付対象病院を石川県にまで広げることについて、富山県の全市町村が合意すれば可能であるとした。

小矢部市は特に石川県の病院を受診する人が多いため、立替えをする必要がなくなれば、子育てする人は大いに助かる。小矢部市として、ぜひ富山県に働きかけることを求める。ワンチーム富山の会議で、桜井市長が取り上げ、新田知事が石川県の馳知事に働きかけると答えられた。その後の進展はどのようか。

「民生部長」1月のワンチーム連携本部会議で、桜井市長が石川県での子ども医療費現物給付を求めたところ、新田知事は検討すると述べ、制度改正に向けて色々と検討されていると聞いている。

金沢市や津幡町で窓口無料の実現を

「上田市議」引き続き働きかけていただきたい。その

パワハラを起こさない研修を

上で、隣接する他府県の医療機関で窓口無料化を実現している自治体の例があることを紹介し、小矢部市でも取り組むことが可能であるか尋ねる。

大阪府四條畷（しじょうなわて）市の市民は、隣接する奈良県の奈良市・生駒市・生駒郡の内科・歯科・調剤薬局合計536の医療機関でこども医療証を使う事ができる。ただし、社会保険に加入している人のみで、国民健康保険の加入者は対象にはならない。公務員の共済組合員も対象になる。小矢部市でも金沢市や津幡町の医療機関で、窓口無料制度が実現できれば、多くの保護者の負担が軽くなる。小矢部市でもこの制度を導入できないか。

「民生部長」石川県への窓口無料制度の拡大は、石川県内で行われている窓口無料制の現状や、県をまたいだ国民健康保険団体連合会・医師会との調整など多くの課題あると認識している。

「上田市議」いろんなところと調整が必要だが、ぜひ石川県での窓口無料を実現してもらいたい。

上田由美子市議は9月8日に開かれた9月定例会全員協議会で、小矢部消防署でのパワハラ報道に関して、次の発言を行いました。

「上田市議」パワハラの経過と市の対応はどうだったのか尋ねる。また、小矢部市役所の他の職場で、パワハラ防止のためどのような措置が行われているか。

2020年6月に労働施策総合推進法が改正され、職場でのパワーハラスメントが定義された。一つは優越的な関係を背景とした言動であり、二つ目には業務上必要かつ相当な範囲を超えたものであり、三つ目には労働者の就業環境が害されるもので、この三つの要素をすべて満たすものとされている。そして、働く人がパワハラの相談をしたことや、事実を述べたことを理由として、不利益な取扱いをすることを禁止している。

職場でパワハラが起きないように、定期的に研修をしているのかも尋ねる。

「総務課長」小矢部消防署は、砺波地域消防組合の所属であるため、処分は消防組合本部で行われ、本市は対応していない。

本市の職員に対しては、パワハラのみでなく、様々なハラスメント研修を定期的に行っている。12月にはハラスメント防止月間を設けている。

